

緊急発表！秋田県の「観光」行くなら今です

得旅キャンペーン「まだバれてない秋田県。」

追加クーポンが本日より発売開始

発売直後に完売した大好評の高額プランも復活！

キャンペーン期間：2026年5月15日（金）～7月31日（金）
追加クーポン配布開始：6月16日（火）～（※第2弾は、秋頃を予定しています）

秋田県観光戦略課は、「まだバれてない秋田県。」得旅キャンペーン（<https://tokutabi.akita-fun.jp/>）の第1弾追加クーポンを6月16日（火）より発売開始します。

第1弾クーポンは、5月7日（木）の配布開始からわずか4日でクーポン総額の70%超が利用され、特に高額帯の商品から次々に完売。「まだバれてない」と言いながら、秋田の観光ポテンシャルが着実にバレはじめています。



観光ポテンシャル大国、実は夏が魅力的！秋田県の「観光」がバレはじめてます

主要都市からのアクセスが抜群（東京から飛行機で約60分。大阪からで約90分）なのに、「遠そう」というイメージだけが先行し、「穴場」のままの秋田県。ユネスコ無形文化遺産7件、じゅんさい生産量日本一、乳頭温泉郷・玉川温泉の秘湯、稲庭うどん・比内地鶏・日本酒の食文化。夏は、ラフティング・カヌー・SUP、乗馬・パラグライダーと、大自然を舞台にしたアクティビティが一気に動き出します。

そこで誕生した「まだバれてない秋田県。」ですが、得旅キャンペーンの第1弾クーポンは1ヶ月を待たずしてほぼ完売。しかも高額プランから先に埋まるという予想以上の反響をいただいています。

魅力がちょっとずつバレはじめている秋田県。本日から販売される追加クーポンを利用し、ぜひ秋田観光をご体験ください。

■ 追加クーポンの主な内容

体験、食事・地酒、特産品などがセットになった宿泊プランを中心にクーポンを追加します。
例)



カヤック体験付き宿泊プラン



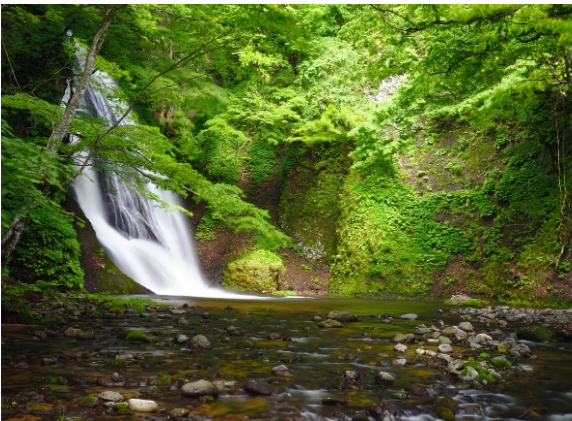
プライベートサウナ貸切付き宿泊プラン



地酒付き宿泊プラン



ハードサイダー醸造所見学・試飲体験付き宿泊プラン



白神山地ハイキングガイドツアー付き宿泊プラン



花火工場見学や花火玉模型作り体験付きプラン

■ キャンペーン概要



キャンペーン名	秋田県「得旅キャンペーン」
キャッチコピー	まだバレてない秋田県。
追加クーポン配布期間	2026年6月16日(火) 10:00～7月30日(木) ※じゃらん net 2026年6月17日(水) 10:00～7月30日(木) ※楽天トラベル
宿泊対象期間	2026年6月16日(火) チェックイン～7月31日(金) チェックアウト ※楽天トラベルは2026年6月17日(水) チェックイン～7月31日(金) チェックアウト
割引上限	1人1予約あたり最大12,000円割引(アドオン・クーポン利用時)
対象	指定予約サイトから対象施設・プランを予約される方(条件は各サイトをご確認ください)
対象予約サイト	じゃらん net / 楽天トラベル / 一休.com / Agoda ※最大12,000円割引はじゃらん net・楽天トラベルのみ適用

■ 割引金額一覧

宿泊料金に応じた割引額の一覧です。アドオン・クーポン(体験、食事・地酒、特産品などがセットになったプラン)を利用すると、さらに大きな割引が適用されます。

宿泊料金(1人1予約)	割引額	アドオン・クーポン利用時
6,000円以上	1,000円割引	3,000円割引
10,000円以上	3,000円割引	5,000円割引
15,000円以上	5,000円割引	7,000円割引
30,000円以上	10,000円割引	12,000円割引 ★最大

※アドオン・クーポンは、体験、食事・地酒、特産品などがセットになった宿泊プランに適用されます。

※アドオン・クーポンの有無、割引額および割引率は、ご利用の予約サイトや予約方法により異なります。予約サイトによっては最大12,000円割引の対象とならない場合があります。

※ディユース(日帰り)は割引対象外です。宿泊を伴う場合のみ割引対象です。

■ 今が見どころ！「まだバレてない秋田県。」ピックアップスポット

■ 雲昌寺（うんしょうじ）（男鹿市）



見ごろの時期：6月中旬～7月上旬
(最盛期は6月下旬頃)

特徴：男鹿半島に位置する雲昌寺は、境内に広がる「青一面」のあじさいがSNSやメディアで話題となり、国内だけでなく海外からも多くの観光客が訪れる、秋田を代表する初夏の絶景スポットです。今年、新たに創作した「日本初・花を使った立体天井絵」も注目です。

■ 抱返り溪谷（仙北市）



見ごろの時期：6月中旬～8月下旬（新緑期）

特徴：東北の耶馬溪とも称される、神秘的な碧い溪流（抱返りブルー）が美しい景勝地です。初夏は瑞々しい新緑に囲まれ、遊歩道を歩きながら「回顧の滝（みかえりのたき）」などの絶景を涼やかに散策できます。

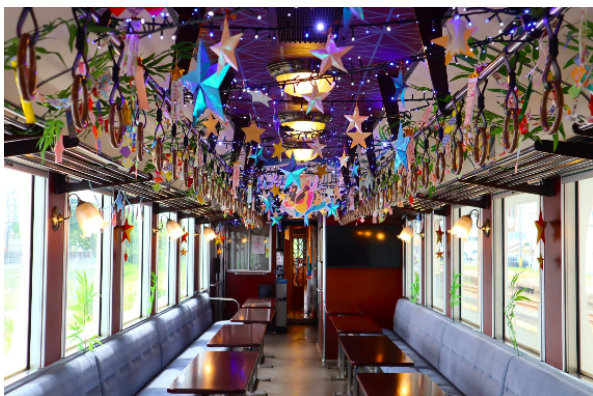
■ 森吉 森のテラス「ほたる観賞」（北秋田市）



開催期間：6月19日～7月19日

特徴：豊かな自然が残る森吉山麓の「森のテラス」では、この1ヶ月間だけ幻想的に舞うホタルを観賞することができます。夏の夜の訪れを感じさせる、秋田ならではの心癒やされる隠れた名イベントです。

■ 由利高原鉄道「七夕列車」（由利本荘市）



運行期間：6月20日～7月7日
(七夕当日まで)

特徴：鳥海山の麓を走るローカル線「おもちゃ列車」などが七夕仕様にデコレーションされます。車内でオリジナルの七夕飾りを作れるなど、子供連れのファミリーや鉄道ファンに人気の初夏恒例の企画列車です。

■みたねサンドクラフト（三種町）



砂像制作期間：7月11日～24日

砂像展示期間：7月25日～8月31日

（メインイベントは7月25日）

特徴：30周年の節目を迎える「みたねサンドクラフト」。昼・夕暮れ・ライトアップ—時間帯によって表情を変える砂像の魅力が楽しめます。

■関係者コメント

秋田県得旅キャンペーンが好調に推移している背景には、現在の旅行者ニーズと秋田県の観光資源、そして今回のキャンペーン設計が効果的に合致したことに考えています。秋田県は、温泉、発酵文化、日本酒、郷土料理、豊かな自然など、現在の旅行市場で高く評価される観光資源を多く有しており、「混雑を避けてゆっくり過ごしたい」という旅行ニーズとも親和性が高い地域です。

それらを「まだ、バれてない秋田県。」という引きのあるキャッチコピーで打ち出し、メディア・SNSなどを活用し積極的にPRを行なっていること。また滞在価値重視型の需要を捉え「体験価値」「滞在価値」と、多様かつきめ細かなクーポン設計が相乗的に作用した結果であると考えています。

本事業担当旅行会社

第1弾クーポンの高額プランから先に売り切れたこと、さらにクーポンが早々に完売したことは秋田県の観光ポテンシャルが本物だという証明だと思っています。秋田県の観光の課題は「魅力」ではなく「イメージ」や「情報量」でした。秋田県では、昨年からのマーケティング戦略室を立ち上げ、積極的な情報発信を行ってきましたが、この一年の活動やチーム体制が得旅キャンペーンの成果につながっていると思います。東京から1時間、これほどの食・温泉・アクティビティが揃っているのに、知られていなかっただけ。追加クーポンでは、前回は発売直後に完売した高額プランを改めて打ち出していきます。キャンペーンを機に秋田県全体として、観光ポテンシャルを実体験に変えていきたいと思っています。

マーケティング戦略課 アドバイザー 永谷亜矢子

【本件に関するお問い合わせ先】

キャンペーン全般	秋田県宿泊応援事業事務局 TEL：018-800-6552
メディア向け取材・素材提供	いぐどお～！あきた魅力発信 PR 事務局（株式会社サニーサイドアップ内） 担当：村瀬（070-1269-0652）、富田（080-4652-4251）、原島、綱川 TEL：03-6894-3200／MAIL：akita_pr@ssu.co.jp

※ クーボンの利用条件・上限回数・他の割引との併用可否等は各予約サイトでご確認ください。

※ 対象となる宿泊施設・プランは各予約サイトによって異なります。

■ 実は夏が魅力的！5月～8月の秋田トピックス

時期	トピックス	見どころ
5月10日～	じゅんさい収穫スタート	じゅんさい収穫体験の受け入れが始まり、生産量日本一ならではの船上採取体験が楽しめる。
7月20～21日	土崎神明社祭の曳山行事	ユネスコ無形文化遺産。精巧な人形が飾られた曳山が市内を練り歩く。
7月後半～	夏のアクティビティ最盛期 カヌー・SUP・ラフティング等	田沢湖・米代川でのカヌー・SUP・ラフティング。大自然を丸ごと使った穴場の体験コンテンツが充実。
8月3～6日	秋田竿燈まつり	東北三大祭りのひとつ。観光客も体験コーナーで参加可能。キャンペーン期間後も秋田の魅力は尽きません。



■ まだバレてない秋田。実は徐々にキテる秋田の魅力

秋田県には、魅力的な観光体験がたくさん存在する一方で、その認知度や訪れる人の数が実力に見合っていないポテンシャルだらけの「隠れた宝」として注目です。

その魅力は少しずつ広がっており、「秋田のウユニ塩湖」としてSNSで注目を集める鶴ノ崎海岸（男鹿市）をはじめ、過去にクールジャパンアワードの国立公園部門賞を受賞した「八幡平ドラゴンアイ」（鹿角市・仙北市）など秋田の絶景スポットが旅行好きの間で口コミで広がっています。また、食に関しても日本を代表するグルメが集結。いぶりがっこや比内地鶏と日本酒の組み合わせなど、本場で味わうと一味も二味も違う特別な食体験を求めて秋田を訪れる観光客が増加しています。2025年には外国人延べ宿泊者数は前年比21.3%増を記録するなど（観光庁「宿泊旅行統計調査」（2025年は第2次速報））、その注目は数字にも表れ始めています。「食」も「遊び」も「祭り」も「温泉」も「絶景」も全てが揃い、まさに“期待値以上”の旅を堪能いただけます。

【食】



日本酒の消費量は日本トップクラス※、「美酒・発酵王国」秋田県本物の味が揃う、美味・美酒の数々 ※成人一人あたりの消費量（国税庁調べ）

稲庭うどん、秋田牛、比内地鶏をはじめ、秋田にはメディアでも取り上げられる機会の多い美味がずらり。そのなかでも注目すべきは、雪国の知恵と技が詰まった多様な発酵文化です。いぶりがっこやハタハタの寿司、米麴が特徴の味噌など、現地ならではの食体験が数多くあります。

また、日本酒好きから絶大な人気を誇る新政をはじめ蔵元の大半が創業100年を超え、日本酒の消費量も日本2位など、美味・美酒ぞろいです。

【遊】 大自然アクティビティの宝庫 — ラフティングに SUP など“夏だからこそ秋田”へ



大自然をフィールドにしたアクティビティも、秋田には穴場的スポットがたくさん存在します。カヌー、ラフティング、SUP、乗馬、パラグライダーなど、家族や初心者でも楽しめる体験から、上級者向けまで「遊び」のラインナップが揃っています。こんなに壮大な自然を味わえるアクティビティがありながらも、“まだ知られてない”ことが秋田の魅力です。

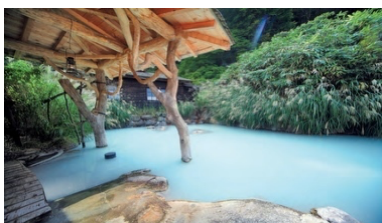
【祭】 ユネスコ無形文化遺産 7 件 — 一県にこれだけ集中しているのに、まだ知られていない



秋田県が有するユネスコ無形文化遺産は7件。

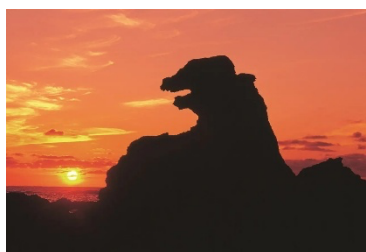
土崎神明社祭の曳山行事・西馬音内の盆踊（日本三大盆踊り）・男鹿のナマハゲ——全国屈指の「伝統行事の宝庫」でありながら、「祭りといえば秋田」という認知はまだ広まっていません。一年を通じて秋田ならではの非日常体験が揃っています

【湯】 乳頭温泉郷・玉川温泉 — 「秘湯」へのアクセスが整備、実は今は誰でも行ける



7つの温泉宿が点在し、それぞれに独自の源泉を持つ乳頭温泉郷、日本一の強酸性（pH1.2）を誇る玉川温泉。かつては「行くのが大変な知る人ぞ知る秘湯」でしたが、近年のアクセス整備によって、実は誰でも訪れやすい名湯となっています。秋田県は「日頃の疲れを癒したい」「誰にも邪魔されずにゆっくりしたい」という温泉好きの心を惹きつけています。

【景】 日本一深い湖・世界自然遺産の森・ゴジラ岩——絶景なのに、まだ人が少ない



水深423mの「田沢湖」（日本一深い湖）、日本初の世界自然遺産「白神山地」のブナ原生林、日本で唯一の二重カルデラ湖「十和田湖」、夕日のシルエットが映画の怪獣そっくりな「ゴジラ岩」（男鹿半島）など、話題性とビジュアルを兼ね備えた絶景が、まだ広く知られていない状態で眠っています。

【犬】 その可愛さ説明不要 — 秋田県が世界に誇る秋田犬に触れ合える「秋田犬カフェ」



秋田県を代表する存在であり、世界中で愛される秋田犬。その愛らしさと穏やかな性格に直接触れられ、SNSでも話題になるのが「秋田犬カフェ」。ふわふわの毛並みや人懐っこい仕草を間近で体験でき、訪れる人々を癒やしの時間へと誘います。観光の合間に立ち寄れる気軽さも魅力で、写真映えはもちろん、秋田ならではの特別な思い出づくりに最適です。